



2025年12月10日

各 位

会 社 名 モ イ 株 式 会 社  
代表者名 代表 取 締 役 社 長 赤松 洋介  
(コード番号: 5031 東証グロース)  
問 合 せ 先 取締役 経営管理本部長 入山 高光  
(T E L : 0 3 - 3 5 2 7 - 1 4 7 1)

**(開示事項の経過) 協議事項の解決とこれに伴う特別損失の計上、  
並びに新たな協議事項の進捗及び業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2025年3月12日及び2025年9月10日に公表しておりました、音楽著作権管理団体である一般社団法人日本音楽著作権協会（以下、JASRAC）との協議を終了し、協議事項の解決にいたりました。本事案の解決に伴い、特別損失を計上することといたしましたので、下記の通り、お知らせいたします。また、本事案の解決を受け、音楽著作権管理事業会社である株式会社NexTone（以下、NexTone）と当社間においても、楽曲利用に伴う収入報告の内容に係る認識の齟齬が発生していることが顕在化いたしましたので、下記の通り、当該事項の解決に向けた進捗状況をお知らせいたします。なお、最近の業績動向を踏まえ、2025年3月12日に発表いたしました2026年1月期（2025年2月1日～2026年1月31日）の業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

**1. 協議事項の解決とこれに伴う特別損失の計上について**

当社は、JASRACと当社サービス「ツイキャス」での楽曲利用に伴う収入報告の内容に係る認識の齟齬の解決に向けて協議を継続しておりましたが、このたび協議事項の解決にいたりましたので、合意書を締結いたしました。また、本事案の解決に伴い、新たに24,030千円を特別損失に計上いたしました。なお、本事案の解決に係る特別損失の累計計上額は、2025年3月12日及び2025年9月10日に公表しております特別損失の計上額を含めて255,030千円となりました。

**2. 新たな協議事項の進捗について**

JASRACとの協議事項の解決を受け、NexToneと当社間においても、楽曲利用に伴う収入報告の内容に係る認識の齟齬が発生していることが顕在化いたしました。当該事項につきましては、当資料発表日現在、NexToneと当社間において解決に向けた協議が進行中であり、JASRACと同様に協議事項の解決に係る費用（以下、協議費用）が発生することを見込んでおります。

なお、現時点で協議費用が当社の業績に与える影響額を合理的に見積もることは困難ですが、今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

### 3. 2026年1月期通期業績予想数値の修正 (2025年2月1日～2026年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,610	百万円 115	百万円 129	百万円 —	円銭 —
今回修正予想 (B)	6,612	328	373	—	—
増減額 (B-A)	2	212	243	—	—
増減率 (%)	0.0	183.6	187.6	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025年1月期)	6,592	232	256	27	1.99

### 4. 修正の理由

#### (売上高)

当社サービス「ツイキャス」は、当期においても、ライブ配信市場における競争環境の変化及びクリエーター活動の多様化の影響を一定程度受けておりますが、メンバーシップ売上は、前回予想を上回って堅調な成長を継続しており、563百万円（前回予想比5.5%増）の着地を見込んでおります。また、プレミア配信売上についても、オンラインイベントの平均チケット販売単価が想定を上回った実績を踏まえて、216百万円（前回予想比5.9%増）となる見込みです。一方で、ポイント販売売上については、平均課金ユーザー数であるポイントPUが軟調に推移した影響により、5,826百万円（前回予想比0.7%減）となる見込みです。

以上により、売上高は6,612百万円（前回予想比0.0%増）の着地見込みとなりました。

#### (営業利益、経常利益)

当社は、当社サービス「ツイキャス」を利用いただいている配信者の満足度向上を優先して、配信者への報酬である売上原価を低減させない方針を推進しており、売上原価率が前回予想を上回る見込みであるため、売上総利益は3,322百万円（前回予想比3.2%減）となる見込みです。

販売費及び一般管理費においては、予定していたマーケティング計画の一部が来期へスケジュール変更された影響等によりマーケティング費用が137百万円（前回予想比24.2%減）となり、ポイント販売においてアプリ以外の決済手段の比率が上昇した影響で売上高に対する手数料率が低下した結果、手数料費用は1,436百万円（前回予想比13.6%減）となる見込みです。また、インフラ費用はピーク時トラフィックの平準化の影響により428百万円（前回予想比6.2%減）、体制強化費用は採用実績が計画を下回ったこと等により618百万円（前回予想比10.5%減）と、それぞれ前回予想を下回る見込です。一方で、上記「1. 協議事項の解決とこれに伴う特別損失の計上について」に記載の通り、JASRACと合意済みの楽曲利用に伴う収入報告に応じて発生する音楽著作権使用料の増加の影響で、その他費用は372百万円（前回予想比15.5%増）となる見込みです。

以上により、営業利益は328百万円（前回予想比183.6%増）と、前回予想を大きく上回る見込みです。また、経常利益につきましても、営業外収益として計上される当社自主音楽レーベル「Moi Records」の管理楽曲に係る収益が増加する見込みであることから、前回予想を大きく上回る373百万円（前回予想比187.6%増）の着地見込みとなりました。

#### (当期純利益、1株当たり当期純利益)

当期純利益及び1株当たり当期純利益につきましては、今後の見通しを踏まえた繰延税金資産の回収可能性の検討に時間を要し、現時点で予想数値の算定が困難であることから、引き続き未定としております。公表可能なとなった時点で速やかに公表いたします。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている当社の当期業績予想等の将来に関する記述は、本資料の日付時点において当社が入手可能な情報による判断及び合理的であると判断する一定の仮定を前提としており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以 上